

大学院薬学研究院 高野博之教授の最終講義が行われました

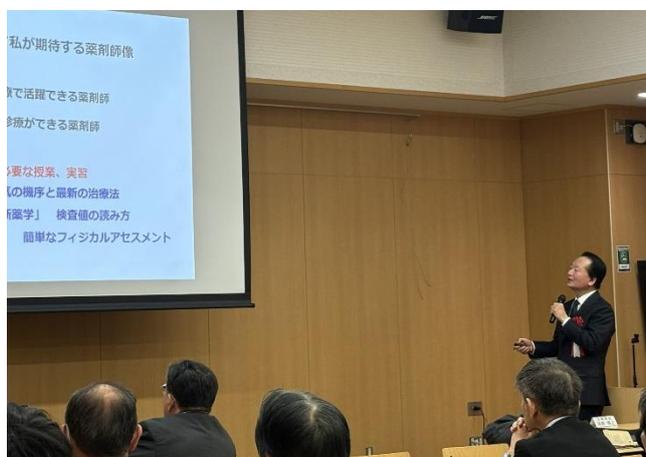
令和 8 年 3 月をもって退職される大学院薬学研究院 高野博之教授の最終講義が、2 月 1 3 日(金)に薬学部創立 1 2 0 周年記念講堂にて行われました。

高野教授は、平成 1 0 年に千葉大学大学院医学研究科博士課程を修了し、千葉大学医学部附属病院循環器内科講師等を経て、平成 2 3 年に千葉大学大学院薬学研究院教授(分子心血管薬理学研究室)に就任され、これまで循環器疾患の病態解明や新たな治療法の開発する分野で活躍し、本学の教育・研究に貢献されました。また、薬剤師教育や治療薬開発にもご尽力されました。

最終講義は、小椋薬学研究院長、山崎評議員からのご紹介のあと、演題『医学と薬学の連携をめざして』についてお話しされ、学外の方や本学の教職員・学生が熱心に聴講しました。

講義終了後には学部生から謝辞及び花束が贈呈されました。

高野教授の益々のご活躍とご健康をお祈りいたします。



講義中の様子



研究室の学生より花束贈呈